

SM-xx タイトル (明朝太字 14pt~18pt)

A114xxx 氏名 (明朝 12pt)

〇〇研究室 (明朝 12pt)

1. はじめに (明朝太字 11pt)

予稿のページ数は、発表 1 件に対して 1 ページとすること。余白は Word の「レイアウト」→「余白」の「やや狭い」に合わせる。Word 以外 (例えば LaTeX) で作成する場合は、上下余白 25mm, 左右余白 20mm 程度で作成すること。本文は明朝 10.5pt 程度で書くこと。タイトルの前の SM は以下に置き換えること。

- ・前田研 : MD
- ・田中研 : TN
- ・小池研 : KK
- ・豊田研 : TY
- ・荒木研 : AR
- ・山内研 : YM
- ・升井研 : MS

そして xx は各研究室の発表の順番を 2 桁で書くこと。以下は、荒木研の 1 番目の発表の例である。

AR-01

予稿の中のフォントの大きさなどは、この資料に記載してあるように書くこと。

参考文献の書き方の例が、この資料の最後に記載されている。必ずしもこの例に従う必要はないが、研究室の中では書式を統一すること。

不明な点は各研究室の指導教員に従うこと。

参考文献

- [1] 鈴木, 田中, 佐藤, 〇〇理論, △出版, 2016.
- [2] Alice, A and Bob, T., On Big Theory, Proc. Electronics 2017, pp.100-106, 2017.